

**製品名: カルパイン 2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07870**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	CAPN2 CAPN2; CANPL2; Calpain-2 catalytic subunit; Calcium-activated neutral proteinase 2; CANP
別名	2; Calpain M-type; Calpain large polypeptide L2; Calpain-2 large subunit; Millimolar-calpain; M-calpain
遺伝子 ID	824.0
SwissProt ID	P17655
免疫原	抗血清はヒトカルパイン 2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 305-354

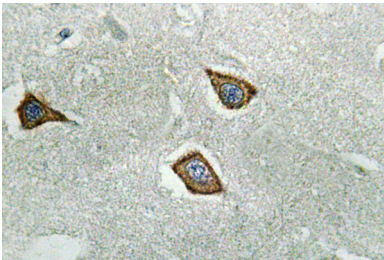
**背景**

カルパインはカルシウム活性化中性プロテアーゼであり、非リソソーム性の細胞内システインプロテアーゼです。哺乳類のカルパインには、普遍性、胃特異的、および筋肉特異的なタンパク質が含まれます。これらの普遍性酵素は、共通の小さな調節サブユニットと関連する、異なる大きな触媒サブユニットを持つヘテロ二量体で構成されています。この遺伝子は、普遍性酵素であるカルパイン 2 の大きなサブユニットをコードしています。5' UTR には複数の異種転写開始部位が報告されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つかっています。 [RefSeq 提供、2009 年 3 月]、触媒活性:広いエンドペプチダーゼ特異性。、補因子:3 つのカルシウムイオンを結合します。、酵素調節:200 ~ 1000 マイクロモル濃度のカルシウムによって活性化され、カルパスタチンによって阻害されます。、機能:細胞骨格のリモデリングとシグナル伝達に参与する基質の限定的なタンパク質分解を触媒する、カルシウム調節性非リソソーム性チオールプロテアーゼ。、配列注意:配列が汚染されています。潜在的なポリ A 配列。、類似性:ペプチダーゼ C2 ファミリーに属します。、類似性:1 つのカルパイン触媒ドメインを含みます。、類似性:3 つの EF ハンドドメインを含みます。、細胞内局在:Ca(2+)結合により細胞膜に移行します。、サブユニット:小型 (調節) サブユニット (CAPNS1) とヘテロ二量体を形成します。、組織特異性:遍在性。、

## 研究分野

アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;接着斑;アルツハイマー病;

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト脳組織におけるカルパイン 2 抗体の免疫組織化学分析。